

日本鉄鋼連盟製品規定

MDCR0005-2015

建築構造用圧延棒鋼及び圧延鋼材

Rolled steels bars and rolled steels for building structure

1. 適用範囲 この規格は、主に建築構造部に用いる熱間圧延棒鋼（以下、棒鋼という）及び熱間圧延鋼材（以下、鋼材という）について規定する。棒鋼のこの規格は、下記 3 及び 4 項の規定の他に、最新の JIS G 3138（建築構造用圧延棒鋼）に従う。その際、下記 2 項に示す SNR400B-KC は SNR400B に、SNR490B-KC は SNR490B にそれぞれ読み替える。また、鋼材のこの規格は、下記 4 項の規定の他に、最新の JIS G 3136（建築構造用圧延鋼材）に従う。その際、下記 2 項に示す SN400B-KC は SN400B に、SN490B-KC は SN490B にそれぞれ読み替える。

2. 種類及び記号並びに適用厚さ 棒鋼の種類は 2 種類とし、その記号及び適用径又は対辺距離は、表 1 による。また、鋼材の種類は 2 種類とし、その記号及び適用厚さは、表 2 による。

表 1 種類の記号 単位 mm

種類の記号	適用径又は対辺距離
SNR400B-KC	6 以上 100 以下
SNR490B-KC	6 以上 100 以下

表 2 種類の記号 単位 mm

種類の記号	製品形状	適用厚さ
SN400B-KC	鋼板、鋼帯、形鋼及び平鋼	6 以上 100 以下
SN490B-KC	鋼板、鋼帯、形鋼及び平鋼	6 以上 100 以下

3. 化学成分 棒鋼は、JIS G 3138 によって分析試験を行い、その溶鋼分析値は、表 3 による。なお、表 3 以外の化学成分は JIS G 3138 による。

表 3 化学成分 単位 %

種類の記号	S
SNR400B-KC	0.015 以下
SNR490B-KC	0.015 以下

4. 降伏点又は耐力及び降伏比 棒鋼は、JIS G 3138 によって引張試験を行い、その降伏点又は耐力及び降伏比は、表 4 による。なお、表 4 以外の降伏点又は耐力及び降伏比は、JIS G 3138 による。また、鋼材は、JIS G 3136 によって引張試験を行い、その降伏点又は耐力及び降伏比は、表 5 による。なお、表 5 以外の降伏点又は耐力及び降伏比は、JIS G 3136 による。

表 4 降伏点又は耐力及び降伏比

種類の記号	降伏点又は耐力 N/mm ²	降伏比 %
	径又は対辺距離 mm	径又は対辺距離
	6 以上 12 未満	6 以上 12 未満
SNR400B-KC	235 以上	80 以下
	355 以下	
SNR490B-KC	325 以上	80 以下
	445 以下	

表 5 降伏点又は耐力及び降伏比

種類の記号	降伏点又は耐力 N/mm ²	降伏比 %
	径又は対辺距離 mm	径又は対辺距離
	6 以上 12 未満	6 以上 12 未満
SN400B-KC	235 以上	80 以下
	355 以下	
SN490B-KC	325 以上	80 以下
	445 以下	

※参考：JIS G 3138（建築構造用圧延棒鋼）2005年版目次

- 1, 適用範囲
- 2, 引用規格
- 3, 種類及び記号
- 4, 化学成分
- 5, 炭素当量又は溶接割れ感受性組成
- 6, 機械的性質
 - 6. 1, 降伏点又は耐力, 引張強さ, 降伏比及び伸び
 - 6. 2, シャルピー吸収エネルギー
- 7, 形状・寸法・質量及びその許容差
- 8, 外観
- 9, 热処理及び記号
 - 9. 1, 热処理
 - 9. 2, 热処理の記号
- 10, 試験
 - 10. 1, 分析試験
 - 10. 2, 機械試験
- 11, 検査
 - 11. 1, 検査
 - 11. 2, 再検査
- 12, 表示
- 13, 報告

※参考：JIS G 3136（建築構造用圧延鋼材）2012年版目次

- 1, 適用範囲
- 2, 引用規格
- 3, 種類及び記号並びに適用厚さ
- 4, 化学成分
- 5, 熱処理及び記号
 - 5. 1, 熱処理
 - 5. 2, 熱処理の記号
- 6, 炭素当量及び溶接割れ感受性組成
 - 6. 1, 炭素当量及び溶接割れ感受性組成の計算
 - 6. 2, 鋼材（熱加工制御を行った鋼板を除く。）の炭素当量及び溶接割れ感受性組成
 - 6. 3, 热加工制御を行った鋼板の炭素当量及び溶接割れ感受性組成
- 7, 機械的性質
 - 7. 1, 降伏点又は耐力, 引張強さ, 降伏比, 及び伸び
 - 7. 2, シャルピー吸収エネルギー
 - 7. 3, 厚さ方向特性
- 8, 超音波探傷試験特性
- 9, 形状・寸法・質量及びその許容差
- 10, 外観
- 11, 試験
 - 11. 1, 分析試験
 - 11. 2, 機械試験
 - 11. 3, 厚さ方向特性試験
 - 11. 4, 超音波探傷試験
- 12, 検査
- 13, 再検査
- 14, 表示
- 15, 報告